

## Google の提供する温室効果ガス排出量可視化ツール

### 「EIE (Environmental Insights Explorer)」を活用した授業を実施します

横浜市は2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、学校、市民、企業等と連携しつつ様々な取組を推進しています。

中でも市域からの二酸化炭素排出量の約4分の1を占める家庭からの排出を抑制するため、市民団体や学校との連携による普及啓発活動を進めています。

この度、Google が提供する「EIE (Environmental Insights Explorer)」を活用した授業・講義を市内の学校で実施することになりましたのでお知らせします。

#### 授業・講義について

##### 1 学習テーマ

- ・地球温暖化の概要・メカニズムを知る
- ・EIE を活用し、横浜市域からの温室効果ガス推定排出量の把握と太陽光パネル導入による削減予測量を把握する
- ・横浜市域の温室効果ガス排出量を削減するために何が必要かについて考える
- ・温室効果ガス排出削減策に関するグループ検討、発表 等

##### 2 実施校

- (1) 県立希望ヶ丘高等学校 (オンライン)  
実施日：令和2年10月13日 (火) (実施済み) 及び令和2年10月27日 (火)
- (2) フェリス女学院大学 (オンライン)  
実施日：令和2年10月19日 (月)
- (3) 横浜国立大学 (オンライン)  
実施日：令和2年10月22日 (木)
- (4) 東京都市大学 (オンライン)  
実施日：令和2年11月11日 (水)
- (5) 市立西本郷中学校 (対面)  
実施日：令和2年11月19日 (木) 及び令和2年11月20日 (金)

※今後、実施校が追加される可能性があります。

※授業の様子の写真をご希望の場合や、現地取材をご希望の方は事前にお問合せ先までご連絡ください。

## Environmental Insights Explore (EIE) について

- EIE は Google の地図データを活用し、都市における、建物や交通に由来する温室効果ガス推定排出量、屋上太陽光発電を導入した場合の推定発電量などを可視化します。
- 統計数値を操作することで、温室効果ガス排出に関するシミュレーションを行うことも可能です。
- なお横浜市域のデータについては、昨年度より EIE で公開されています。

EIE (ブラウザは Google Chrome のみ対応) : <https://insights.sustainability.google/>  
紹介ビデオ : <https://youtu.be/vxZXCAUkCKw>



SDGs未来都市・横浜



お問合せ先

温暖化対策統括本部調整課担当課長 宮島 弘樹 Tel 045-671-2336